



shaping your dreams

# OSG 通信

第108期 通期のご報告

2019年12月1日 ~ 2020年11月30日

## OSG WEB SHOWROOM



**オーエスジー株式会社**

証券コード：6136

### CONTENTS

株主の皆様へ	01	ESGへの取り組み	06
連結業績ハイライト	04	財務データ	07
特集：NEO新城工場始動！	05	会社概要／株式の状況	10

株主の皆様におかれましては

平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大という厳しい事業環境ですが、

2021年11月期は経営体制を刷新し、

新しい視点でこの時代を乗り越えていく所存です。

## 2020年11月期を振り返って

2020年度は中期経営計画「The Next Stage17」の最終年度でした。当社グループでは、2018年11月期まで順調に業績を伸ばしてまいりましたが、2019年11月期の下期には米中貿易摩擦の激化、そして2020年11月期は新型コロナウイルス感染症拡大による景気後退などが重なり、中期経営計画「The Next Stage 17」で目標とした売上高1500億円、営業利益率20%の達成はできませんでした。残念ではございますが、本目標の達成は2021年11月期以降にずれ込むことになりました。


中期経営計画「The Next Stage 17」では、生産体制の刷新を目指し「OSG4.0プロジェクト」を進めてきました。現場力を後押しするIoT活用を合言葉に超多品種小ロット生産でリードタイムを短縮し、利益を出せる生産体制の構築に努めました。一方でロットの大きな生産は無人化生産を進め、生産効率の向上を実現してきました。2020年5月には、OSG4.0の実現工場としてNEO新城工場を立ち上げ、超硬タップ、超硬ドリルなどの高能率工具の生産を開始してい

ます。今後、マザー工場であるNEO新城工場での取り組みを全製造部門へ順次展開していくことで、「OSG4.0プロジェクト」をさらに加速させることができると考えています。また、欧州地域での販路の拡充および欧米での航空機産業向けビジネス強化のためのM&Aを進めるなど、海外事業の強化にも注力してきました。さらに、将来性が高いと期待されるコーティング事業への投資も技術と販路の両面で増やしてきました。

2020年11月期は新型コロナウイルス感染症の影響で工具需要は激減しましたが、5月を底に回復傾向となりました。特に中国の自動車産業での工具需要の回復が大きくなりました。欧米においても需要は回復しており、遅れていた日本、韓国、東南アジアもようやく回復してきました。また、流通在庫の調整も9月以降順調に進みました。

2021年11月期は経営体制を刷新し、新しい視点でこの時代を乗り越えていく所存です。



A photograph of two men in dark blue suits standing in a modern office lobby. The man on the left is wearing a patterned tie and a pocket square. The man on the right is wearing a solid purple tie and a pocket square. The background shows a bright, open-plan office space with large windows, a reception desk, and a dining table.

代表取締役会長兼 CEO  
石川 則男

代表取締役社長兼 COO  
大沢 伸朗

## 持続的な企業価値向上に向けて

当社はまもなく創立83周年を迎えますが、この先100周年を迎えるまでの10年20年を経た時に、当社が今以上に輝いていられることを目指し中長期的な組織作りを進めていきます。しかしながら、短期的にはこの先の景況の見通しについては非常に難しいと感じています。2020年に底を打ったとは言えますが、世界的に見ても2021年に大きな成長性が期待できるかまだ予想ができない状況です。

想定外の新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、CASE※といわれる新技術の中でも特にEV（電気自動車）化の波が世界全体で加速的に進んでいく様相です。当社としてはEV化に伴い燃料系エンジン部品加工の減少が見込まれますが、現在の当社の「強み」を最大限に活かすことでその波に対応し、リスク低減に取り組みます。EV化に伴い新たに生まれる部品加工のチャンスに対しては、常に新しい情報を意識的にキャッチしながら、競争相手に負けないスピード感で、「新たな価値」をお客様に提供していくことでさらなるシェアアップを図ってまいります。

EV以外でも、この先、成長性があるといわれている業種分野への販売を伸ばしていくことが、アフターコロナを見据えた取り組みにつながります。半導体、5G、医療、デンタル業界などの成長市場が新たな商機になる可能性を大きく秘めており、そのような成長市場で最新の加工相談などをお客様からいただけるような「頼られる存在のメーカー」を目指します。その目的で一年半前から新たに取り組みを開始したアプリケーションセールス部門が、ここにきて非常に多くの案件をいただき、成果につながりだしています。工作機械を得意とする商社を通じ、工作機械メーカーとの連携も進み、多くの引き合いをいただいています。これらを

さらに強化して新しい商機を逃すことなく、工作機械メーカーと良好な関係を作り、国内および近隣の東南アジア・中国、メキシコといった新興国に販売される工作機械の搭載案件の受注強化に取り組みます。

当社が構築している海外5極体制の中、世界20数カ国、70以上におよぶ海外拠点も強固なものになってきています。この海外ネットワークの強みを活かし、全世界でのマーケットシェアを広げ、グループ全体の業績の底上げを図ります。

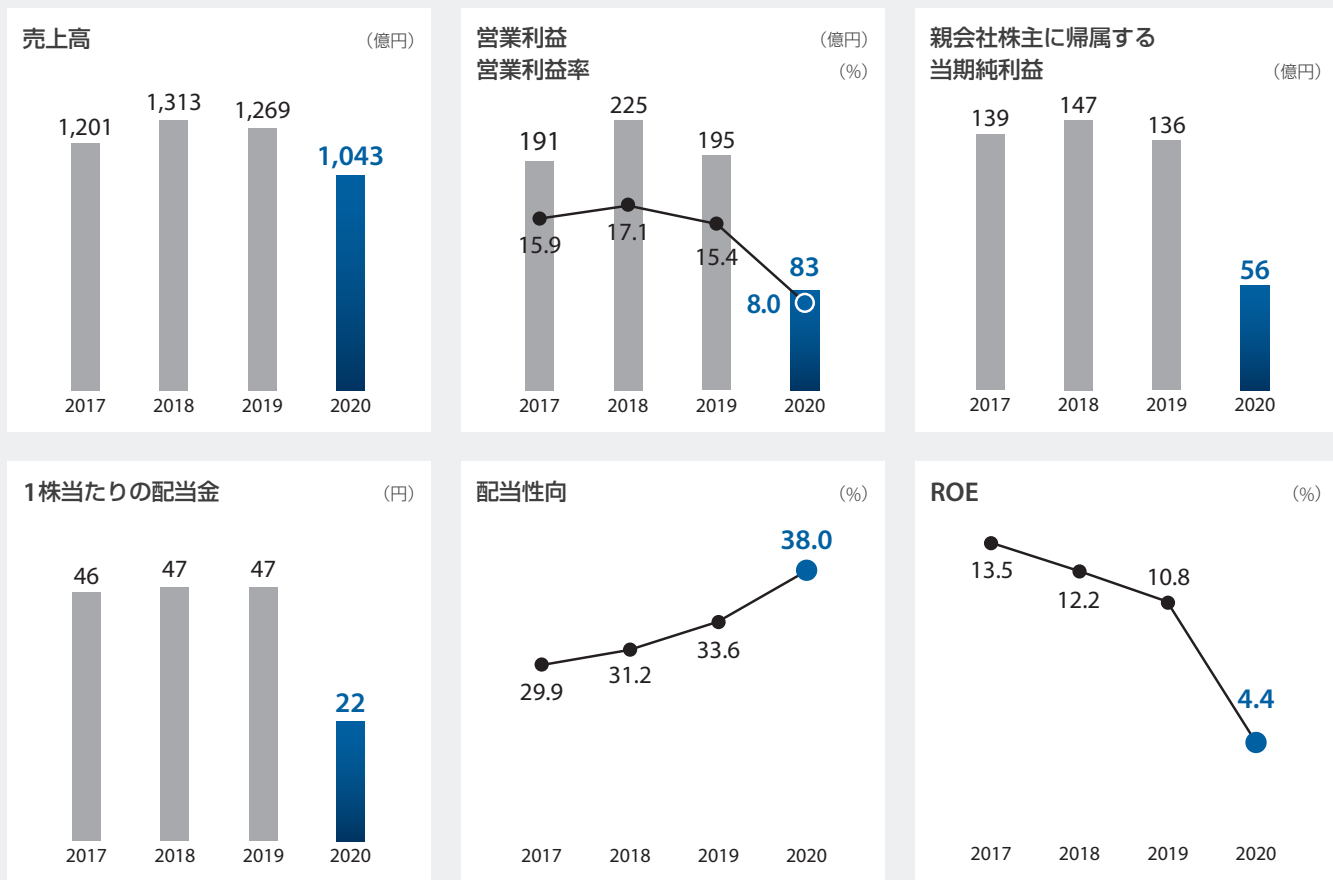
この10年、20年先に当社がどのように成長できるかは今からの5年間で非常に重要な助走期間であると考えています。そのためには、「シェアアップ」と「新技術・新製品」がポイントになります。現在すでに開発している新技術を新たな分野で活かし、その中から新たな柱になるような新製品をこの5年の間に一つでも多く生み出すことがこの先の成長につながると考えています。

「オーエスジーの未来を自分たちが思い描き、その未来を自分たちの手で創っていく」というのが、私どものイメージする「新しいオーエスジーの姿」です。

株主、ステークホルダーの皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

※Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動運転)、Shared & Services(カーシェアリングとサービス)、Electric(電気自動車)の頭文字

## 連結業績ハイライト



## 2021年11月期の連結業績予想

2020年11月末時点での情報をもとに、右記のとおり2021年11月期の連結業績予想を算定しました。ただし、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

	20/11 (実績)	21/11 (予想)	前期比 増減率
売上高	1,043	1,150	10.2%
営業利益	83	115	37.0%
経常利益	89	115	28.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	56	75	33.0%
1株当たり当期純利益(円)	57.94	76.96	—



特集：NEO 新城工場始動！

デジタル技術で超多品種少量生産を実現

# 合言葉は 「ゼロワンファクトリー」

## 2020年5月 NEO (ネオ) 新城工場リニューアル マザー工場の大規模なリニューアルは約30年ぶり

2020年5月、約30年ぶりに国内のマザー工場の大規模なリニューアルとなったNEO新城工場が稼働しました。約600名の従業員が、超硬ドリル、超硬タップ、ハイスドリル、ハイスエンドミル(月当たり約5400種類、約7700ロット)などの工具を生産しています。この工場の最大の特徴は、デジタル技術を駆使した超多品種少量生産が可能なこと。この特徴にさらに磨きをかけ、オーエスジーの次世代の基幹工場として、今後は世界中の拠点に展開してまいります。

## ゼロから1を生み出す「人」 匠の技術と、スマートファクトリーの融合

この工場のキャッチフレーズは「ゼロワンファクトリー」です。これは、今までの当社のやり方とは一旦切り離して、ゼロから考えてみよう、という考え方によるものです。重要なのは、ゼロから1を生み出せるのは、ITではなく「人」であることです。長年培ってきた巧みや研削加工技術と最新のデジタル技術とを融合し、「人」が中心のデジタル化をさらに推進していくことで、生産性とアウトプットの最大化の実現を目指します。

### 働きやすい職場環境へ

#### ダイバーシティの実現を目指した施設環境

NEO新城工場では、フリーアドレスを採用したオフィス、ミーティングスペースとしても使用できる社員食堂、オーエスジーの生産拠点の国名で命名した会議室など、従業員の働く施設にさまざまなアイデアを取り入れて、働きやすい環境づくりを進めています。



フリーアドレスオフィス



Zero-One Cafeteria (社員食堂)

# Social

働きやすい職場環境へ

## 家庭と仕事の両立支援

育児休業制度の充実によって、家庭と仕事の両立を支援しています。  
サテライト勤務やフレックス勤務は、通勤の負担を軽減し、  
家庭に費やす時間が増えたという効果がありました。  
在宅勤務制度の整備についても現在検討中です。

### ■ 育児休業制度

育児休業制度は、制度導入時より法律が定める基準以上の充実した内容にしており、その後も制度の改善・拡大を継続しています。

#### <育児休業制度の拡大>

1. 不妊治療のための勤務時間短縮制度(有給)
2. 1時間以内10分単位での勤務時間繰り下げ制度
3. 育児休業期間の適用拡大
4. 所定外労働の免除期間の適用拡大
5. 育児のための勤務時間短縮制度の適用拡大
6. 育児のための1時間単位の分割年休取得対象適用拡大

### ■ 1時間単位の分割年休の取得範囲の拡大

当社では以前より、小学6年生以下の子どもがいる育児必要社員と、要介護状態および要支援状態の2親等以内の家族がいる介護必要社員については、1時間単位の分割年休取得を認めていました。2019年4月に、さらに働きやすい環境づくりの一環として、育児必要社員の対象範囲と対象者を拡大しました。

1. 育児のため「中学3年生以下の子」がいる社員へ拡大
2. 「傷病による通院・治療する」社員へ拡大

### ■ サテライト勤務制度

家庭に近い勤務場所に勤務することによって、「通勤が楽になった」「子どもの送迎等、育児に費やす時間が増えた」などの声が寄せられています。

### ■ フレックス勤務制度

フレックスタイム制利用率(=フレックス対象全社員の中で既存の所定労働時間帯以外の始業時間で勤務している社員の比率)は、43%。これまでの育児・介護短時間勤務に加え社員が働きやすく、かつ個人のライフスタイルに合わせた勤務ができると好評です。



働きやすい職場づくりによる  
好循環サイクル



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期末 19年11月30日現在	当期末 20年11月30日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	26,950	<b>37,807</b>	10,856
受取手形及び売掛金	22,400	<b>19,733</b>	△2,666
棚卸資産	43,878	<b>42,025</b>	△1,852
その他	3,073	<b>3,280</b>	207
貸倒引当金	△198	<b>△155</b>	42
流動資産合計	96,104	<b>102,691</b>	6,587
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物	18,663	<b>24,685</b>	6,022
機械装置及び運搬具	35,217	<b>34,500</b>	△717
工具、器具及び備品	2,179	<b>2,155</b>	△24
土地	14,864	<b>14,995</b>	131
建設仮勘定	7,199	<b>2,649</b>	△4,549
その他	12	<b>612</b>	600
有形固定資産合計	78,137	<b>79,599</b>	1,462
<b>無形固定資産</b>			
のれん	3,613	<b>4,273</b>	659
その他	1,412	<b>1,260</b>	△151
無形固定資産合計	5,026	<b>5,533</b>	507
<b>投資その他の資産</b>			
投資有価証券	3,882	<b>6,182</b>	2,300
出資金	1,203	<b>760</b>	△442
その他	6,425	<b>5,710</b>	△714
貸倒引当金	△364	<b>△366</b>	△1
投資その他の資産合計	11,146	<b>12,287</b>	1,140
固定資産合計	94,309	<b>97,420</b>	3,110
<b>資産合計</b>	<b>190,414</b>	<b>200,112</b>	9,698

(単位:百万円)

	前期末 19年11月30日現在	当期末 20年11月30日現在	増減額
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
支払手形及び買掛金	6,039	<b>4,308</b>	△1,730
短期借入金	2,742	<b>4,473</b>	1,731
1年内返済予定の 長期借入金	546	<b>8,522</b>	7,976
未払費用	7,822	<b>6,062</b>	△1,760
未払法人税等	2,699	<b>630</b>	△2,068
その他	3,727	<b>3,324</b>	△403
流動負債合計	23,578	<b>27,323</b>	3,744
<b>固定負債</b>			
社債	5,000	<b>5,000</b>	-
転換社債型 新株予約権付社債	1,670	<b>1,670</b>	-
長期借入金	16,822	<b>22,103</b>	5,280
繰延税金負債	1,079	<b>1,703</b>	623
その他	1,604	<b>2,133</b>	528
固定負債合計	26,177	<b>32,609</b>	6,432
負債合計	49,755	<b>59,932</b>	10,177
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>			
資本金	12,194	<b>12,223</b>	28
資本剰余金	13,731	<b>12,934</b>	△796
利益剰余金	109,428	<b>111,594</b>	2,165
自己株式	△1,894	<b>△1,442</b>	451
株主資本合計	133,460	<b>135,309</b>	1,848
<b>その他の包括利益累計額</b>			
その他有価証券 評価差額金	1,281	<b>1,105</b>	△176
繰延ヘッジ損益	-	<b>0</b>	0
為替換算調整勘定	△5,663	<b>△7,076</b>	△1,413
その他の包括利益 累計額合計	△4,381	<b>△5,970</b>	△1,589
新株予約権	13	<b>13</b>	-
非支配株主持分	11,567	<b>10,828</b>	△738
純資産合計	140,658	<b>140,179</b>	△478
<b>負債純資産合計</b>	<b>190,414</b>	<b>200,112</b>	9,698

(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2018年11月期に係る連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前期 18年12月1日～ 19年11月30日	当期 19年12月1日～ 20年11月30日	増減額
売上高	126,964	<b>104,388</b>	△22,575
売上原価	73,281	<b>65,715</b>	△7,566
売上総利益	53,682	<b>38,673</b>	△15,009
販売費及び一般管理費	34,128	<b>30,276</b>	△3,851
営業利益	19,554	<b>8,396</b>	△11,157
営業外収益			
受取利息及び配当金	343	<b>342</b>	△0
補助金収入	252	<b>1,127</b>	874
訴訟損失引当金戻入額	380	-	△380
その他	932	<b>802</b>	△129
営業外収益合計	1,908	<b>2,272</b>	363
営業外費用			
支払利息	205	<b>243</b>	37
売上割引	787	<b>610</b>	△177
為替差損	260	<b>416</b>	156
その他	497	<b>448</b>	△49
営業外費用合計	1,752	<b>1,718</b>	△33
経常利益	19,710	<b>8,950</b>	△10,760
特別利益			
固定資産売却益	-	<b>208</b>	208
投資有価証券売却益	474	-	△474
特別利益合計	474	<b>208</b>	△266
特別損失			
投資有価証券評価損	339	<b>90</b>	△249
特別退職金	-	<b>171</b>	171
特別損失合計	339	<b>261</b>	△78
税金等調整前 当期純利益	19,845	<b>8,896</b>	△10,948
法人税、住民税 及び事業税	5,963	<b>2,281</b>	△3,681
法人税等調整額	△409	<b>871</b>	1,281
法人税等合計	5,554	<b>3,153</b>	△2,400
当期純利益	14,291	<b>5,743</b>	△8,547
非支配株主に帰属する 当期純利益	604	<b>103</b>	△501
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,686	<b>5,639</b>	△8,046
1株当たり親会社株主に 帰属する当期純利益	140.06	<b>57.94</b>	△82.12

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前期 18年12月1日～ 19年11月30日	当期 19年12月1日～ 20年11月30日	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	19,261	<b>17,038</b>	△2,223
投資活動による キャッシュ・フロー	△20,314	<b>△17,133</b>	3,181
財務活動による キャッシュ・フロー	3,465	<b>9,658</b>	6,193
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△690	<b>△88</b>	602
現金及び現金同等物の 増減額	1,721	<b>9,475</b>	7,753
現金及び現金同等物の 期首残高	21,545	<b>23,704</b>	2,159
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	437	<b>120</b>	△317
現金及び現金同等物の 期末残高	23,704	<b>33,299</b>	9,595

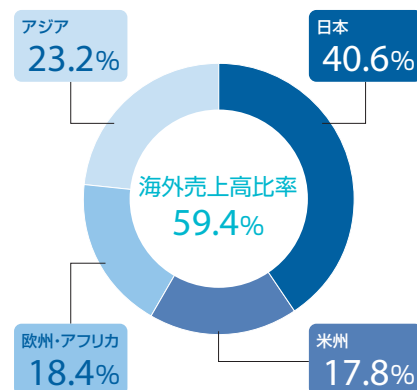
連結セグメント情報

製品別売上高

(単位:百万円)

	前期 18年12月1日～ 19年11月30日	当期 19年12月1日～ 20年11月30日	増減額
精密工具			
切削工具			
ねじ切り工具	39,895	<b>33,671</b>	△6,224
ミーリングカッター	26,690	<b>21,219</b>	△5,471
その他切削工具	36,147	<b>29,484</b>	△6,663
切削工具合計	102,733	<b>84,374</b>	△18,358
転造工具	9,973	<b>7,947</b>	△2,026
測定工具	1,946	<b>1,712</b>	△234
精密工具合計	114,653	<b>94,034</b>	△20,619
その他	12,310	<b>10,354</b>	△1,956
合計	126,964	<b>104,388</b>	△22,575

地域別売上構成比



所在地別セグメント業績

(単位:百万円)

	前期 18年12月1日～ 19年11月30日	当期 19年12月1日～ 20年11月30日	増減額	当期の営業概況
日本				
売上高	76,770	<b>57,838</b>	△18,931	新型コロナウイルス感染症の流行による経済活動の停滞により、主要ユーザーである自動車関連産業向けなど多くの業種で需要は大幅に減少し、売上の減少に伴い営業利益も大幅に減少しました。
営業利益	12,086	<b>2,505</b>	△9,580	
営業利益率	15.7%	<b>4.3%</b>		
米州				
売上高	23,731	<b>19,228</b>	△4,503	新型コロナウイルス感染症の影響により景気が急速に悪化しました。下期にかけて北米・ブラジルなど景気は回復傾向ですが、それまでの減少を補うには至らず、売上・営業利益ともに大きく減少しました。
営業利益	2,736	<b>1,640</b>	△1,095	
営業利益率	11.5%	<b>8.5%</b>		
欧州・アフリカ				
売上高	21,033	<b>19,499</b>	△1,534	新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの国で一定期間経済活動が制限されたことにより、売上・営業利益ともに大きく減少しました。特に、航空機産業向けの需要は厳しい結果となりました。
営業利益	1,177	<b>482</b>	△695	
営業利益率	5.6%	<b>2.4%</b>		
アジア				
売上高	31,591	<b>25,295</b>	△6,296	新型コロナウイルス感染症の影響により、中国での一時生産停止やその他アジア諸国でのロックダウン実施など需要は大幅に減少しました。足元は中国を中心に回復傾向ですが、売上・営業利益ともに大きく減少しました。
営業利益	3,930	<b>2,119</b>	△1,811	
営業利益率	12.4%	<b>8.3%</b>		

## 会社概要

商号	オーエスジー株式会社 OSG Corporation
本社	愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地
設立	1938年3月26日
資本金	122億23百万円
従業員	連結7,173名 単独1,881名
事業内容	切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・ 機械部品の製造販売、工具の輸入販売

## 役員 (2021年2月20日現在)

代表取締役会長兼 最高経営責任者(CEO)	石川 則男
代表取締役社長兼 最高執行責任者(COO)	大沢 伸朗
取締役(監査等委員)	大沢 吾平
取締役(監査等委員)	中川 威雄*
取締役(監査等委員)	小野 喬四郎*
取締役(監査等委員)	榊 佳之*
取締役(監査等委員)	高橋 明人*
取締役(監査等委員)	原 邦彦*
常務執行役員	大沢 二郎
常務執行役員	大沢 秀朗
常務執行役員	竹生 光志
上席執行役員	彦坂 光義
上席執行役員	米田 能崇
上席執行役員	近田 幸典
執行役員	Jeffrey Tennant
執行役員	久留 俊弘
執行役員	鈴木 康司
執行役員	杉原 健也
執行役員	鄭 承鎮
執行役員	石田 修
執行役員	増岡 仁史
執行役員	松尾 直彦

\*取締役のうち、中川威雄、小野喬四郎、榊佳之、高橋明人、原邦彦の各氏は社外取締役であります。

## 株式の状況

### 発行可能株式総数

200,000,000株

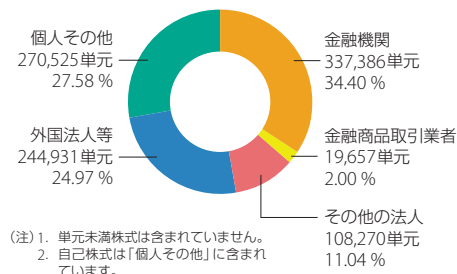
### 発行済株式総数

98,179,742株

### 株主総数

7,498名

## 所有者別株式分布状況 (1単元の株式数100株)



## 大株主

株主名	所有株式数(千株)	所有株式数比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,705	8.87
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,005	5.10
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	4,645	4.73
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	3,276	3.34
オーエスジーエージェント会	3,173	3.23
オーエスジー持株会	2,614	2.66
公益財団法人大澤科学技術振興財団	2,350	2.39
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,338	2.38
株式会社三井住友銀行	2,100	2.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	2,023	2.06

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 所有株式数比率は自己株式を控除して算出しております。

## 株主メモ

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで

定時株主総会 毎年2月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年11月30日  
中間配当 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。  
[https://www.osg.co.jp/about\\_us/ir/kessan/](https://www.osg.co.jp/about_us/ir/kessan/)

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 東京・名古屋両取引所

証券コード 6136



2019.12.1

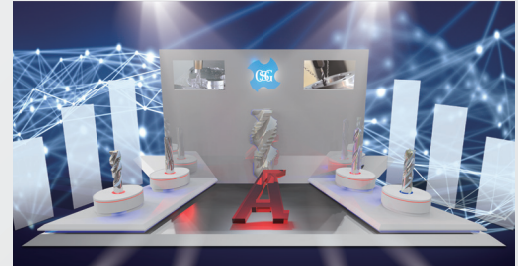
2020.11.30

# OSG Today

## 新しい販売チャンネルへの取り組みで、 お客様の課題を解決!

### 「OSG WEB SHOWROOM」開設

2020年7月1日(水)よりOSG公式ホームページにて「OSG Web Showroom」をオープンしました。新製品情報を中心にチャット機能を利用した加工技術相談やWebセミナー、お客様事例のご紹介などさまざまなコンテンツをご用意しています。Webセミナーではランチャタイムに気軽にご参加いただけるセミナーやエンジニアによる技術セミナーなど多数開催しています。チャット機能を利用したお客様とのやり取りは「新しい営業スタイルとして参考にしたい」というお声を多くいただいています。販売促進につなげるOSGの新しい取り組みにご期待ください!



「OSG Web Showroom」のトップページ

「OSG WEB SHOWROOM」へは、右記のQRコードからもアクセスが可能です。



「OSG サステナビリティサイト」のトップページ

## 持続可能な社会の発展に向けた 取り組みを進めます!

### 「OSG サステナビリティサイト」を新設

この度、OSG公式ホームページのコーポレートサイト内に「OSG サステナビリティサイト」をオープンしました。このサイトでは、従来の「環境への取り組み」に加え、今回新たに「コーポレート・ガバナンス」や「社会への取り組み」のページを新設しリニューアルしました。当社が、日頃から取り組んでいる社会・環境活動をはじめ、コーポレート・ガバナンス体制、当社の目指す理想の働き方制度・福利厚生制度等について詳しくご紹介しています。過去にリリースした統合報告書、環境報告書などもご覧いただけます。

是非「OSG サステナビリティサイト」へアクセスいただき、ご覧ください。



「OSG サステナビリティサイト」へは、左記のQRコードからもアクセスが可能です。



オーエスジー株式会社

〒442-8543 愛知県豊川市本野ケ原三丁目22番地  
TEL:0533-82-1111 FAX:0533-82-1131  
https://www.osg.co.jp/

